

P8310788.JPG 2019/03/25

明治元年九月十四日より明治元年九月十八日まで

P8310788right

十四日子 陰終日夕雨意

山本次郎より樽柿五十を贈らる、山本長来り、近日上総行^二餞として煙草^三二箱を贈らる、田中十右衛門

来り、前同断、鯉ぶし券一方を贈る、富沢叔母上総行餞として霜糖一折鯉ぶし七本を贈る
十五日丑 晴

匠工鉄右衛門を呼び、表座敷稻荷社取毀(とりこわし)等の儀談す、家族共上総富田方野村当分住居の儀

書面扣とも休左衛門をして、日野根権方へ為持遣す、出立日限家族人数書等、差出趣を以右書付戻越す、保三儀本日、組世話役え命賀として赤飯煮魚等贈り越、野宮市来る

不在に托し不面

十六日寅 晴本雨

P8310788left

富沢叔母上総表退居に付、本日自宅引拂出立、早天に別を告ぐ自分も同所へ立帰り本日昼後出立登戸より同行の約なり、金蔵下宿後、初而来る、本日上総出立に付永持よりさしみ一皿

を贈らる、第三時茶溪舂船え乗り、第四時霊岸^二泊寒川平吉船え乗移り上陸近辺散歩、晚餐茗荷麵等を喫し入夜帰船、水主共え心附ケ品遣し枕に就く、雨にて終日船を泊

十七日卯 陰終日

払曉出船の中にて朝食を喫し第十時半前寒川岸へ着船、叔母は先達て着し居、近江屋

清^二右衛門、「木原とく妹の^三也、」方え^四内を受^五種には待^六あり、十二時前立出、第四時
いづみ^二にて小休、中野

迄到りしに今日途中惣て、泥濘に阻られ、同所於て夜に入り無抛泊宿

十八日辰 陰

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。